

# 麻疹（はしか）はワクチンで防げる病気です

## 【はじめに：麻疹は予防できる病気】

麻疹（はしか）は麻疹ウイルスによる感染症で、日本でも散発的に流行します。最近では2007年に都内で大学生らを中心に流行し、今年4月からも都内で流行がみられています。今年の流行は、フランスを初めとするヨーロッパ各地で昨年末から流行しているものが持ち込まれたことがウイルスの遺伝子型から考えられます。

麻疹はワクチンで予防できる病気です！かからないように予防接種をきちんとうけることが大切です。

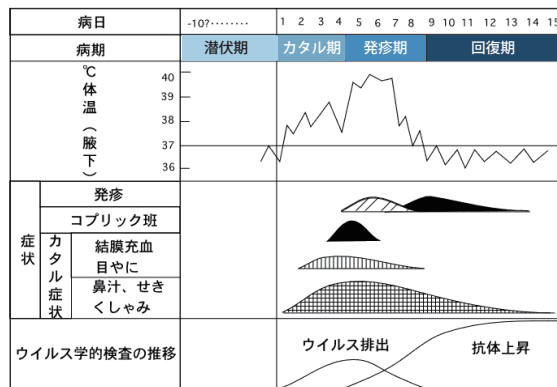
## 【症状】



- 1 潜伏期：麻疹ウイルスがからだに入ると1～2週間は症状がでません。
- 2 カタル期：その後、3日間程度38℃くらいの発熱があり、目の充血や目やに、せき・鼻水などの症状が出ます。
- 3 発疹期：その後いったん熱は下がり傾向にみえますが実は解熱せず、発疹期に移行します。発疹期の熱は39℃～40℃の高熱になり、顔やからだ、手足に発疹が出現します。一部は発疹どうしがくっつきます。口の中の粘膜にコプリック斑という小さな斑点ができる場合がありますが、はっきりしない場合もあります。熱も高く、症状もつらいので体力が奪われやすく、小さなお子さんでは脱水になることもあります。発疹期は3～4日間続きます。
- 4 回復期：解熱後、発疹は色素沈着となりやがて消えていきます。皮が剥けることもあります。

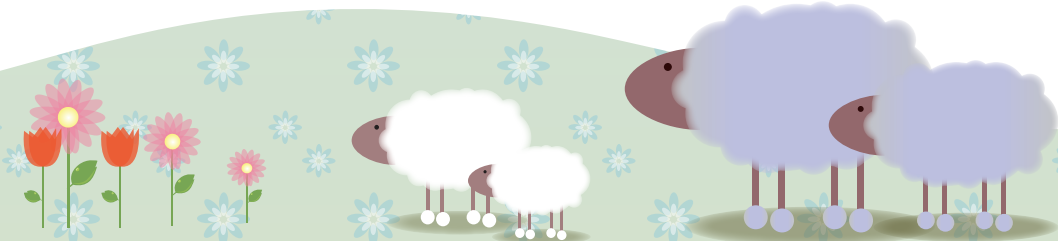
## 【感染経路と診断、出席停止期間：初期症状ではかぜと区別が付きません】

麻疹ウイルスは非常に感染力が強く、空気感染・接触感染・飛沫感染をします。周囲への感染力は、カタル期の2日くらい前から回復期の2日目くらいまでとされます。カタル期に最も感染力が強いといわれていますが、発疹が出る前のカタル期にはまだ診断がついていないことが多く、その結果、周囲の多くの人に感染が広がります。麻疹が疑われた場合には血液検査を行います。麻疹の診断がついた場合、熱が下がってから3日間を過ぎるまでは登校・登園はできません。



藤井良知, 西村忠史, 中村健: 小児感染症学, 第1版, 南山堂, 東京, 1985, pp.14より改変

≫ 裏面へ



## 【合併症：麻しんで怖いのは合併症です】

特に問題となるのは合併症です。肺炎は麻しんでの死亡原因になります。また脳炎もまれですが起こります。脳炎になった人の約15%は命を落とし、30%は何らかの後遺症を残します。

亜急性硬化性全脳炎（SSPE）は数年経ってから起こる、進行性の神経疾患です。麻しんにかかった人の数万人に1人が発症し、数年から十数年で死に至ります。研究は進んでいますが、治すことが困難な予後不良な合併症です。

その他、中耳炎、クループ症候群、心筋炎などが合併することがあります。

## 【治療と予防：麻しんは予防できます！】

通常、麻しんを治す特別な治療法はなく、あくまでも症状を緩和するお薬のみとなります。十分水分をとりながら、ひたすら嵐が過ぎ去るのを待つだけです。合併症が起きた場合には抗菌剤などで治療することもあります。

麻しんはワクチンで予防できる病気です。1歳になったらできるだけ早くMRワクチン（麻しん風しん混合ワクチン）第1期の接種をしましょう。MRワクチンは予防接種法に基づいた定期接種であり、接種を受けるように努めなければなりません。また、1回の接種で

は十分な免疫がつかない場合があります。小学校入学前の1年間に2回目（第2期）があるので、忘れずに接種しましょう。東京都は第1期の接種率は93.2%（全国平均：93.6%）、第2期の接種率は89.8%（全国平均：92.3%）でいずれも全国平均を下回っています（2009年度、厚労省統計）。また2013年3月までは中1で第3期、高3で第4期の接種機会があります。定められた時期以外は任意接種となりますが、目黒区では公費により任意接種を受ける制度があります。目黒区にお住まいでご希望の方は目黒区保健予防課・碑文谷保健センターにお問い合わせください。

麻しんの患者さんと接触した時は72時間以内にワクチンを接種すれば発症を防ぐことが可能な場合がありますが、すでに予防できる時期を過ぎている場合もあります。まずはご相談ください。

1歳未満の赤ちゃんにはMRワクチンは接種できませんが、6ヶ月以上であれば任意接種として麻しんワクチンを接種することはできます。この場合でも1歳になったらあらためてMRワクチンの接種をしてください。6ヶ月未満の赤ちゃんにはお母さんからの移行抗体があるので通常は麻しんワクチンの接種は行われません。

2011年6月

高嶋 能文



たかしま よしふみ  
高嶋 能文

山梨医科大学卒  
日本小児科学会専門医  
日本血液学会血液専門医  
日本がん治療認定医

自由が丘メディカルプラザ 小児科

東京都目黒区自由が丘2-11-16 日能研自由が丘ビル2F

<http://www.jiyugaokamp.com>

TEL : 03-6421-1080

